



shaping your dreams

OSG 通信

第106期 通期のご報告

2017年12月1日 ~ 2018年11月30日

CONTENTS

- 1 OSG Global Challenge
- 3 株主の皆様へ
- 6 特集：世界で成長を続けるOSG
- 7 財務データ
- 10 会社概要 / 株式の状況

オーエスジー株式会社

証券コード：6136



当グループでは、2020年11月期を最終年度とした4カ年の中期経営計画「The Next Stage 17」に取り組んでいます。基本戦略の「大手ユーザー戦略」と「カタログ品戦略」に沿って、グローバルな事業基盤をさらに拡充し、中期目標の達成と長期ビジョンの実現を目指します。

The Next Stage 17

【2017年11月期～2020年11月期中期経営計画】

基本戦略

大手ユーザー戦略

- ▶ 自動車産業に注力
- ▶ 航空機産業を自動車産業に次ぐ柱とする
- ▶ 成長分野の新規大手ユーザー開拓

How?

常にユーザーに寄り添い
ニーズにあった工具と
加工方法を提案する。

- ▶ 納期対応力とコスト競争力の両立
- ▶ テクニカルセンターの拡充
- ▶ M&A（買収企業とのシナジー最大化）

カタログ品戦略

- ▶ 一般機械加工業や金型産業など、世界中のより多くのお客様へ

How?

コストパフォーマンスに優れた
工具をタイムリーに提供し、
お客様の生産性向上に貢献する。

- ▶ 超硬のラインナップ拡充
- ▶ 流通組織A-Clubを世界中で展開
- ▶ 在庫政策と物流体制のさらなる強化

中期目標 2020年11月期

売上高
1,500億円

営業利益
300億円

長期ビジョン

世界トップの穴加工用切削工具メーカー

主力製品の世界シェア

No.1

〈タップ、エンドミル、ドリル、転造工具〉

営業利益率

20%

営業利益率20%に向けて

量産効果

- 地域セグメント別Aブランドのマーケティング
- 新生産管理システムの導入

高付加価値化

- 最先端コーティング品の採用
- 徹底した顧客ニーズへの対応

グループ内のシナジー強化

- コア技術の迅速な世界展開
- グループ製品のグローバル販売

shaping your dreams

お客様の夢をカタチに

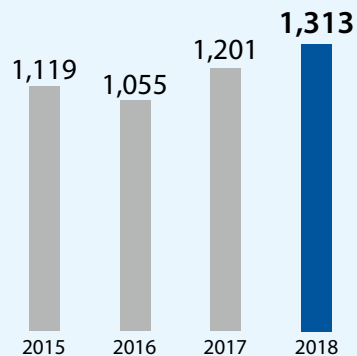
独自の成長戦略を展開し、
過去最高の売上高を
更新しました。

代表取締役社長 兼 CEO 石川 則男

財務ハイライト

売上高

(億円)



Q1

当期(2017年12月1日～2018年11月30日)の
経営環境と業績について教えてください。

当社を取り巻く事業環境は、世界的な製造業の好況を追い風に好調を維持し、主要ユーザーである自動車関連産業向けをはじめ、航空機産業向けや一般機械関連など、広範な産業分野で高水準の需要が続きました。加えて、半導体需要の増加、ロボット生産の伸長、資源高に起因する重工・建機産業の復調などによって切削工具のニーズがグローバルで高まり、標準品、特殊品ともに受注が急増し、現在もフル生産が続いています。

以上の結果、売上高は1,313億6千8百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は225億2千万円(同17.7%増)、経常利益は225億6千7百万円(同17.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は147億1千万円(同5.1%増)となりました。海外売上高比率は58.4%(前期57.6%)と増加しました。

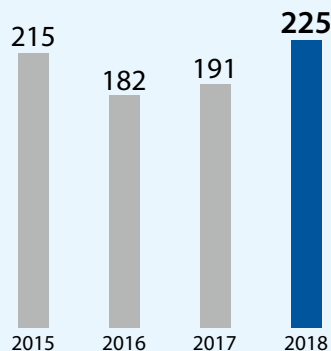
Q2

中期経営計画「The Next Stage 17」の
進捗状況について説明いただけますか。

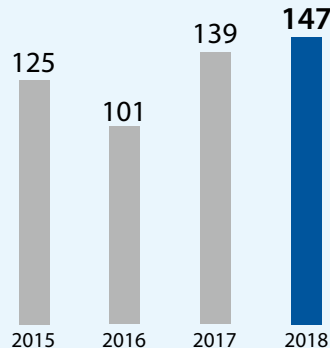
中期経営計画2年目に当たる当期は、2020年11月期に売上高1,500億円、営業利益300億円という中期経営目標の達成に向け、お客様の加工ニーズをくみ取り最適な工具と加工方法を提案する「大手ユーザー戦略」と、販売しやすい魅力的な製品を取り揃えお客様の生産性向上に貢献する「カタログ品戦略」を強力に推進しました。特殊品については、グローバルネットワーク、情報収集力、提案力を生かした製品づくりに、標準品については「Aブランド」の拡販に注力して取り組み、計画通りの成果を実現することができました。また生産面では、スマートライン化を進めるなどして工場の稼働率を高め、利益率向上に努めました。目標達成に向け、着実に前進できた1年だったと考えています。

営業利益

(億円)

親会社株主に帰属する
当期純利益

(億円)



営業利益率

(%)



株主の皆様へ

Q3

では、来期の業績見通しについては、
どのようにお考えですか。

2019年は中期経営計画の3年目に入ります。米中貿易摩擦、一部新興国の経済鈍化など、今後の世界経済動向には注意が必要なから、切削工具の需要増は継続すると予想され、このような中、来期はタップ、ドリルを中心とした製品の高付加価値化、航空機産業のシェアアップにひもづく超硬工具の強化、「Aブランド」ラインナップの拡充、「コーティング」「再研磨」などのアフターサービス事業の充実等の施策に重点的に取り組みます。加えて、新規顧客産業の開拓、M&Aによる販路拡大、需要拡大による供給不足回避に向けた生産設備の増強や生産体制の再編を進めます。

これらの取り組みにより、来期の連結業績は、売上高1,370億円、営業利益240億円、経常利益240億円、親会社株主に帰属する当期純利益153億円を計画しています。

Q4

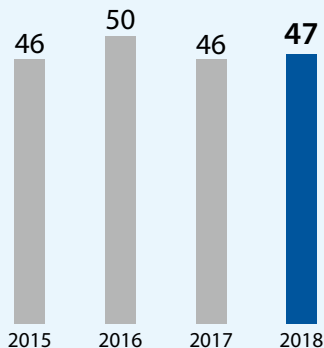
株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社は株主の皆様への利益配分を重要な経営課題の1つとして認識しており、連結ベースでの配当性向30%以上を目処として、キャッシュ・フローや財務状況などを総合的に勘案して配当を実施させていただくことを基本方針としております。当期末の配当は、1株あたり24円に創立80周年記念配当1円を加え合計25円に、中間と合わせた年間配当は、1株あたり47円とさせていただきました。

オーエスジーは、総合工具メーカーとして地球規模で事業を展開し、グローバルステージで継続的に成長を続けてきました。これからも「お客様の夢をカタチにする」企業として世界の製造業への貢献を目指し、挑戦を続けてまいります。株主の皆様には変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1株当たりの配当金

(円)



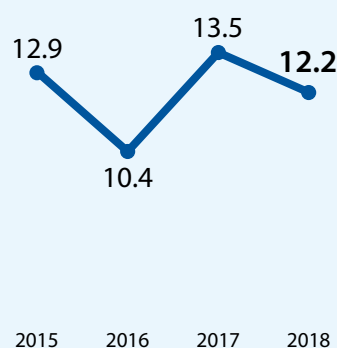
配当性向

(%)



ROE

(%)



NEWCASTLES OF THE WORLD ALLIANCE 2018

世界各国との良好な関係を築く架け橋として、
国際交流イベントに協賛しています。

世界中には、100以上の「Newcastle (ニューキャッスル:新城)」という地名がついた都市があります。オーエスジーが本社を構えている愛知県豊川市に隣接する新城市で、世界の「Newcastle (新城)」都市に呼びかけ、1998年に第1回世界新城サミット(8都市参加)が開催されました。その後も2年に一度、各都市で開催され、2008年のドイツ会議から市民も参加することができる現在の形「アライアンス」会議に発展。今回のニューキャッスル・アライアンス会議2018では、「文化」「観光」「教育」「ビジネス」の4つの分野において、問題点や課題を共有し、その解決策や行動計画について議論を深めました。

オーエスジーは、地球規模で活躍する切削工具メーカーとして、世界各国との良好な関係を築く架け橋として、この国際交流イベントに協賛しています。今回の会議には、オーエスジー社員もスタッフとして参加させていただきました。今回の活動を足掛かりに世界中の「New Castle」の都市との交流を今後も深め、オーエスジーのビジネスとしても各地域のものづくり産業に対して今回新たに生まれたネットワークを活かしながら、さまざまな形でアプローチを続けて行きたいと考えています。



国際交流イベントに
スタッフとして参加する
オーエスジー社員

スイス ~ヌシャテル(フランス語:新しい城)のご紹介~

スイスの北西に位置し、世界的に有名なヌシャテル湖の北にある、ヌシャテル。その名も新しい城。ワインの産地であり、雄大な自然や伝統的な街並みが溢れるヌシャテルでは、実は時計の産業が盛んです。オーエスジーのグループ会社である、「Vischer & Bolli (ヴィッシャーアンドボリ)」の営業事務所がヌシャテルにあります。

お客様の多くは、やはり時計メーカー。日本から遠く離れたスイスの地でも、オーエスジーの工具が採用され活躍しています。



グループ会社 Vischer & Bolli の社員



Switzerland

財務データ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末	当期末	増減額
	17年11月30日現在	18年11月30日現在	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	21,204	24,406	3,201
受取手形及び売掛金	23,961	25,128	1,166
棚卸資産	34,850	38,802	3,951
繰延税金資産	1,786	1,676	△110
その他	2,505	2,781	276
貸倒引当金	△240	△198	42
流動資産合計	84,069	92,596	8,527
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	20,178	19,871	△307
機械装置及び運搬具	30,891	32,269	1,378
工具、器具及び備品	2,260	2,159	△100
土地	15,102	15,172	70
建設仮勘定	1,187	2,748	1,560
その他	1	4	3
有形固定資産合計	69,622	72,226	2,604
無形固定資産			
のれん	3,517	3,367	△149
その他	784	633	△151
無形固定資産合計	4,301	4,000	△301
投資その他の資産			
投資有価証券	5,119	4,610	△508
出資金	920	1,859	939
その他	3,066	3,140	74
貸倒引当金	△387	△381	5
投資その他の資産合計	8,718	9,229	511
固定資産合計	82,642	85,457	2,814
資産合計	166,712	178,054	11,341

(単位:百万円)

	前期末	当期末	増減額
	17年11月30日現在	18年11月30日現在	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	5,325	6,067	742
短期借入金	1,909	2,282	373
1年内返済予定の 長期借入金	421	1,175	753
未払費用	7,200	7,878	677
未払法人税等	3,458	2,732	△726
その他	3,510	4,066	556
流動負債合計	21,826	24,202	2,376
固定負債			
転換社債型 新株予約権付社債	3,150	1,860	△1,290
長期借入金	10,844	10,294	△549
繰延税金負債	1,242	986	△256
その他	1,254	2,355	1,101
固定負債合計	16,491	15,496	△994
負債合計	38,318	39,699	1,381
純資産の部			
株主資本			
資本金	11,954	12,124	170
資本剰余金	13,492	13,662	170
利益剰余金	90,308	100,260	9,952
自己株式	△1,229	△161	1,067
株主資本合計	114,526	125,886	11,359
その他の包括利益累計額			
その他有価証券 評価差額金	2,019	1,608	△410
繰延ヘッジ損益	△0	-	0
為替換算調整勘定	△735	△2,161	△1,426
その他の包括利益 累計額合計	1,283	△553	△1,837
新株予約権	13	13	-
非支配株主持分	12,570	13,008	437
純資産合計	128,394	138,354	9,960
負債純資産合計	166,712	178,054	11,341

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前期 16年12月1日～ 17年11月30日	当期 17年12月1日～ 18年11月30日	増減額
売上高	120,198	131,368	11,170
売上原価	69,711	74,833	5,121
売上総利益	50,486	56,535	6,048
販売費及び一般管理費	31,349	34,015	2,665
営業利益	19,137	22,520	3,383
営業外収益			
受取利息及び配当金	313	322	9
為替差益	276	-	△276
補助金収入	-	249	249
その他	584	891	306
営業外収益合計	1,174	1,463	288
営業外費用			
支払利息	129	164	34
売上割引	715	817	101
為替差損	-	119	119
その他	322	313	△8
営業外費用合計	1,167	1,415	247
経常利益	19,144	22,567	3,423
特別利益			
固定資産売却益	321	-	△321
投資有価証券売却益	1,887	-	△1,887
特別利益合計	2,209	-	△2,209
特別損失			
のれん償却額	266	-	△266
特別損失合計	266	-	△266
税金等調整前 当期純利益	21,086	22,567	1,480
法人税、住民税 及び事業税	6,533	7,111	577
法人税等調整額	△266	△184	81
法人税等合計	6,267	6,926	659
当期純利益	14,819	15,641	821
非支配株主に帰属する 当期純利益	825	930	104
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,993	14,710	716
1株当たり親会社株主に 帰属する当期純利益	153.70	150.47	△3.23

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 16年12月1日～ 17年11月30日	当期 17年12月1日～ 18年11月30日	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	20,820	20,125	△695
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,566	△13,351	△5,785
財務活動による キャッシュ・フロー	△11,137	△4,723	6,413
現金及び現金同等物に 係る換算差額	540	△333	△874
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,658	1,716	△941
現金及び現金同等物の 期首残高	16,555	19,598	3,043
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	300	229	△71
非連結子会社との 合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	84	-	△84
現金及び現金同等物の 期末残高	19,598	21,545	1,946

財務データ

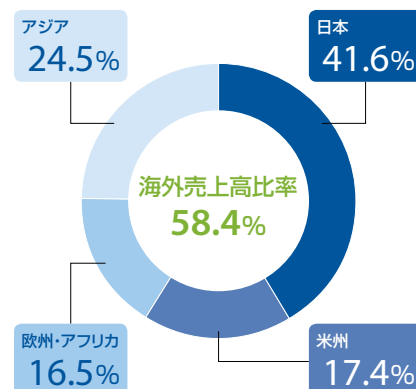
連結セグメント情報

製品別売上高

(単位:百万円)

	前期 16年12月1日～ 17年11月30日	当期 17年12月1日～ 18年11月30日	増減額
精密工具			
切削工具			
ねじ切り工具	38,175	41,729	3,553
ミーリングカッター	27,090	27,917	826
その他切削工具	31,662	36,811	5,148
切削工具合計	96,929	106,458	9,528
転造工具	10,218	10,645	426
測定工具	1,625	1,757	131
精密工具合計	108,773	118,860	10,086
その他	11,424	12,508	1,083
合計	120,198	131,368	11,170

地域別売上構成比



所在地別セグメント業績

(単位:百万円)

	前期 16年12月1日～ 17年11月30日	当期 17年12月1日～ 18年11月30日	増減額	当期の営業概況
日本				
売上高	70,477	76,374	5,897	主要ユーザーである自動車関連産業をはじめ、幅広い業種から需要は堅調に推移しました。輸出需要もアジア、欧州向けが堅調となり、売上高、営業利益ともに前期と比較して増加しました。
営業利益	10,817	11,779	962	
営業利益率	15.4%	15.4%		
米州				
売上高	21,643	23,081	1,437	主要市場の北米では、航空機関連産業向けを中心に需要は底堅く推移し、メキシコ・ブラジルでは、自動車関連産業向けが好調に推移したことにより、前期と比較して増収増益となりました。
営業利益	2,851	3,379	527	
営業利益率	13.2%	14.6%		
欧州・アフリカ				
売上高	18,282	22,305	4,023	自動車関連産業向け需要を中心に業績は順調に推移しました。既存組織の売り上げ増加に加えて、M&Aによる売上が増加したことにより、前期と比較して増収増益となりました。
営業利益	1,194	1,891	697	
営業利益率	6.5%	8.5%		
アジア				
売上高	31,102	34,336	3,233	韓国での業績が低調であったものの、アジアセグメント全体としては、主力のタップ及び超硬ドリルを中心に売上が増加したことにより前期と比較して増収増益となりました。
営業利益	4,688	5,596	908	
営業利益率	15.1%	16.3%		

会社概要

商号 オーエスジー株式会社
OSG Corporation

本社 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地

設立 1938年3月26日

資本金 121億24百万円

従業員 連結7,020名 単独1,811名

事業内容 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・
機械部品の製造販売、工具の輸入販売

役員 (2019年2月16日現在)

代表取締役社長兼CEO (最高経営責任者)	石川 則男
取締役専務執行役員	大沢 伸朗
取締役(監査等委員)	大沢 吾平
取締役(監査等委員)	中川 威雄*
取締役(監査等委員)	大森 宏幸*
取締役(監査等委員)	小野 喬四朗*
取締役(監査等委員)	榊 佳之*
取締役(監査等委員)	高橋 明人*
常務執行役員	大沢 二郎
常務執行役員	大沢 秀朗
常務執行役員	竹生 光志
上席執行役員	Michael Grantham
上席執行役員	彦坂 光義
上席執行役員	米田 能崇
執行役員	大野 博巳
執行役員	Jeffrey Tennant
執行役員	澤田 和久
執行役員	富吉 剛弘
執行役員	久留 俊弘
執行役員	鈴木 康司
執行役員	大橋 英之
執行役員	杉原 健也
執行役員	鄭 承鎮
執行役員	近田 幸典

*取締役のうち、中川威雄、大森宏幸、小野喬四朗、榊佳之、高橋明人の各氏は社外取締役であります。

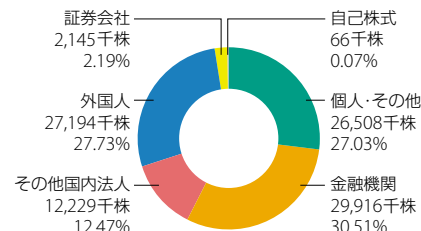
株式の状況

発行可能株式総数
200,000,000株

発行済株式総数
98,061,519株

株主総数
7,606名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	7,208	7.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,881	6.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,581	4.68
オーエスジーエージェント会	2,957	3.02
オーエスジー持株会	2,455	2.51
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,310	2.36
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,284	2.33
株式会社三井住友銀行	2,100	2.14
トヨタ自動車株式会社	2,100	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,906	1.95

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで

定時株主総会 毎年2月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所

証券コード 6136

OSG Today

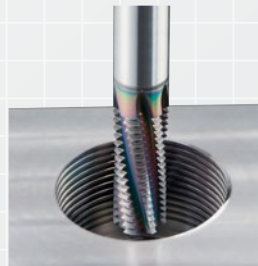
2018年 超モノづくり部品大賞「機械・ロボット部品賞」受賞

「ワンレボリューションスレッドミル AT-1」

開発者:開発グループ 依田智紀

2018年11月に行われたモノづくり日本会議／日刊工業新聞社主催の2018年“超”モノづくり部品大賞贈賞式・記念シンポジウムにて、注目のオーエスジー新製品、ねじ切りフライス工具の「AT-1」が機械・ロボット部品賞を受賞しました。受賞式では、開発者の依田が、オーエスジーを代表し表彰されました。AT-1の特徴は、『工具の倒れ抑制のための、右刃左ねじれ溝』、『防振効果のための不等分割・不等リード溝』という2つの特許技術を採用したことです。これらの技術により、切削加工中の工具の倒れを最小限に抑制し、お客様への、より良いねじ穴加工の提案が可能となりました。

※AT-1に関するお問い合わせは、営業所又は本社フリーダイヤルまでご連絡ください。



「ワンレボリューション
スレッドミル AT-1」

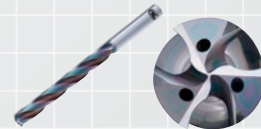
「Triple Revolution (トリプルレボリューション)」に決定

3枚刃油穴付き超硬ドリル「ADO-TRS」で
ドリル新時代の幕開け!

東京ビッグサイトで開催されましたJIMTOF2018にて、オーエスジーの期待の新製品「ADO-TRS」が発表されました。ADO-TRSはAブランドの新・3枚刃油穴付き超硬ドリルです。オーエスジーはこの新製品のネーミングを一般公募し、約750件の応募があった中、上位4名をJIMTOFの会場へ招待しました。その中から大賞に選ばれたネーミングは、「トリプルレボリューション」。

ADO-TRSは、Rギャッシュにより細かく安定した切りくずを生成し、2枚刃に匹敵する低抵抗を実現します。結果、粘性の高い鋼材を含む幅広い被削材で安定した高能率加工を可能とします。

発売は、2019年春を予定。



「Triple Revolution」
3枚刃油穴付き超硬ドリル ADO-TRS



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131
<https://www.osg.co.jp/>

